

市制50周年記念事業専門部会の意見

市職員で構成する市制50周年記念事業専門部会(プロジェクトチーム)において、友好都市について意見交換を行った際に出た意見は次のとおり。

1 「友好都市」に対するイメージ

- ◇相互交流(人…市民・職員、モノ…特産品・商業、文化、イベント、宿泊補助)
- ◇共通点がある(まちの規模、歴史的なつながり、まちづくりの目指す形)
- ◇対照的である(ないものを持っている)
- ◇海外都市との交流
- ◇災害時の助け合い
- ◇お互いに親しみが持てる
- ◇友好都市関係であることが認知されにくい

2 友好都市締結により想定できる効果

- ◇イベントの規模拡大・共同開催・参加特典
- ◇交流(人、モノ、文化、職員の相互派遣)
- ◇災害援助・協力体制
- ◇公共施設の相互利用
- ◇ふるさと納税の活用による経済効果
- ◇産業の活性化(名産品の相互購入)
- ◇認知度の向上、交流人口の増加、お互いのまちの魅力発信、親しみがわく
- ◇新しいモノ・コトを生み出すきっかけ